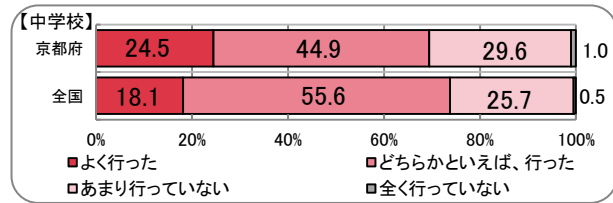
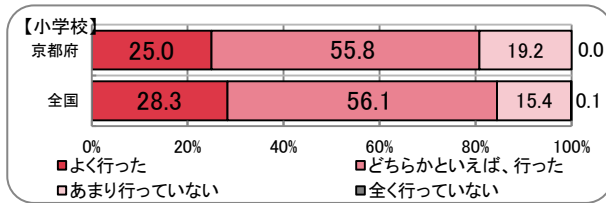


## (5) 家庭学習

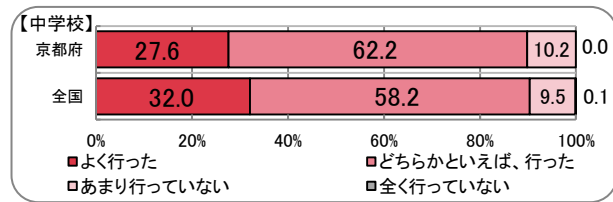
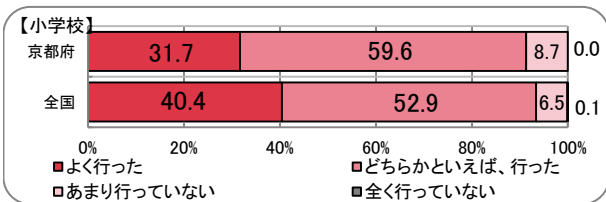
京都府のデータは京都市を除いています

Q1～4は便宜上の番号であり、実際の質問番号はP60参照

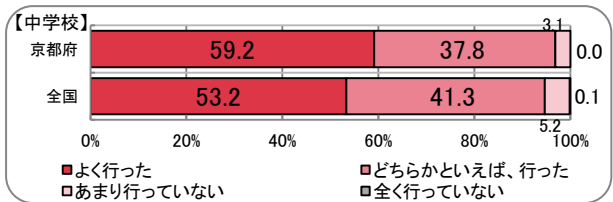
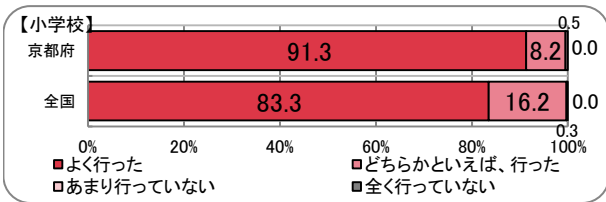
**Q1: 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりして来る宿題を与えましたか。(国語/算数(数学)共通)**



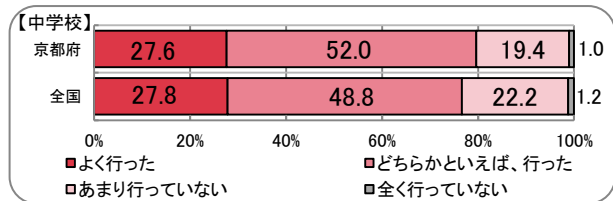
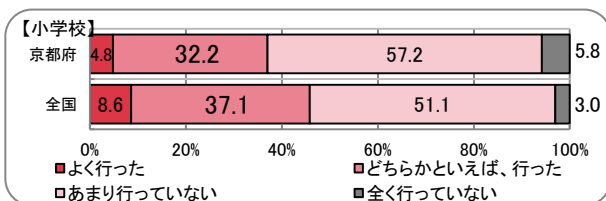
**Q2: 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童(生徒)に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。(国語/算数(数学)共通)**



**Q3: 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、算数(数学)の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか。**



**Q4: 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか。**



**分析** Q1「調べたり文章を書いたりして来る宿題を与える」は、これまで京都府は小中学校とも毎年肯定的回答の割合は全国平均より低かったが、今年度中学校では「よく行った」の回答が全国平均を大きく上回っている(この項目は、学力上位県では肯定的回答が高い傾向がある)。Q3「算数(数学)での宿題を与える」肯定的回答の割合は小中学校とも全国平均よりも高いが、Q4「理科」の肯定的回答の割合は、小学校では全国平均よりも低く、P62「(3)理科の指導法」と同様、検討が必要である。